

分院小児科の絵本紹介第2弾!

vol.11年報/2016.11.1発行

分院小児科の絵本の紹介

小児科待合いで
人気の絵本4冊をご紹介します

第2弾です!



おーくん おんぶ お母さんが一番!

だれかをおんぶしてあげたいおーくん。
くまさんや、ぶたさんのぬいぐるみをいっぱいおんぶして、
ころんじやった。そこへお母さんがやってきておーくんをおんぶ。
やっぱりおかあさんにおんぶしてもらうのがいいね。

片山 健/作・絵 対象年齢/10カ月～2歳



しずくのぼうけん

しずくはどうなるの?...はらはら、ドキドキ..

おばさんのバケツからとびだしたしずく。
物語と同時に、水の変化も楽しめて、満足感いっぱいの絵本です。

マリア・テルリコフスカ/作 ポフダン・ブテンコ/絵
対象年齢/4歳～小学校低学年



パンのかけらとちいさなあくま

知恵を働かせ富をもたらす小悪魔のお話...

小さなあくまと貧乏なきこり、意地悪地主とのやりとりが痛快!
リトアニアの昔話で、悪魔は人間と友好的な存在だそうです。

内田 莉沙子/作 堀内 誠一/絵 対象年齢/5～6歳



ぼくはワニのクロッカス

見た目はこわいけど、本当は...

のどかな農場にとつぜん現れたワニのクロッカス。
あひるのバーサとたくさんの動物たち、そして最後は
きれいな花を通じて、人間ともなかよしくなっています。

ロジャー・デュボアザン/作・絵 対象年齢/6～7歳